

令和7年度 美術 各単元（題材）における観点別の評価基準

1 学年

	指導計画及び指導内容	各観点における評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	・デッサン 上履きを描く ・形のとらえ方や明暗の付け方 ・材質感の違いによる表現の仕方	・形や色彩の特徴のとらえ方や用具の使い方を理解し、対象を正確に、美しく表現することができる。	・身近なものの形や色彩のよさ、美しさを感じ取り、豊かな発想で、表現方法を工夫することができる。	・スケッチをすることに関心を持ち、意欲的に描くことができる。 ・対象をよく観察し、対象物から感じ取ったことをいきいきと表現している。
	・色彩と配色 平面構成 ・色彩の三要素 ・混色や配色による効果	・色彩による効果を理解し、対象から感じ取ったものを、美しくデザインし、表現できる。	・配色の違いによる美しさを生かした発想ができ、画面のバランスを考えた構成ができる。	・色彩について理解し、各色相の性質を知り、関心を高めながら制作に取り組める。 ・色彩による効果や使われ方を理解し、感じ取ったことを作品制作に生かしている。
2 学期	・塑像 身近なものの模刻 ・塑像の制作方法 ・身近なものの造形的なよさを感じ取る	・粘土や用具の特性などから制作の順序を考え、表現することができる。	・身近なものの造形的なよさや美しさを感じ取り、対象をよく観察し、心豊かに表現する構想を練ることができる。	・塑像の制作方法について理解し、用具や材料の特性を知り、関心を高めながら制作に取り組むことができる。 ・身近なものを模刻した作品を鑑賞し、感じ取ったことを制作に生かしている。
	・レタリング 絵文字 ・文字の種類とレイアウト ・絵文字のデザイン	・活字体の基本を正確に練習し、自分でデザインし、美しく表現をすることができる。	・適切なレイアウトでレタリングをすることができ、それに合った配色を構想しながら表現ができる。	・文字の種類やレイアウトの意味を理解し、活字体の文字の美しさや表現の違いを感じ取りながら、レタリングをすることや絵文字への関心を強く持って制作に取り組んでいる。
3 学期	・つなげて広がる模様の世界 ・伝統的な文様について知る ・連続した模様のつくり方を知る ・ICTを活用し、連続した文様をつくる	・形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、主題に基づいて表現することができる。	・連続する模様に必要な条件などを基に、美的感覚を働かせて調和の取れた美しさなどを考え、構想を練ることができる。	・多様なものの見方を持って発想し、デザインを工夫しながら、制作への意欲を高めることができる。 ・多様な表現の違いや良さに気づき自分の作品のイメージを創造できている。